

【管理運営状況公表様式】

令和2年度

青森県身体障害者福祉センターねむのき会館の管理運営状況

県所管課	健康福祉部障害福祉課
指定管理者	(一財) 青森県身体障害者福祉協会 会長 山田 金治
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日

1 管理業務の実施状況

業務区分	概要
身体障害者に対する更生相談、機能訓練を行う業務	音声機能障害者発声訓練事業等の障害者生活訓練事業を実施することにより、日常生活に必要な訓練・指導を行った。
身体障害者に対するスポーツ、レクリエーションの指導等を行う業務	各スポーツ教室や、レクリエーション事業を開催し、障害者同士の交流の機会を広げ、社会参加を支援した。
身体障害者の社会参加に必要な援助を行うためのボランティア養成等を行う業務	地区別パソコン講習会では、支援者を含めた講習を開催するとともに、レベルに応じたスポーツ指導員養成研修会の実施を行い、障害者の社会参加を支援するための支援者の養成を行った。
施設及び設備等の維持管理に関する業務	法令等に基づいた各種設備の保守管理を行い施設の安全性を確保するとともに、適切に施設の維持管理を行った。

2 管理施設の利用状況

利用指標	年度	計画	実績	計画対比	前年度対比
施設利用者	H29	14,000人	15,779人	112.7%	97.8%
	H30	14,000人	15,143人	108.2%	96.0%
	R1	14,000人	14,033人	100.2%	92.7%
	R2	14,000人	8,635人	61.7%	61.5%
スポーツ教室参加者数	H29	600人	836人	139.3%	118.8%
	H30	700人	929人	132.7%	111.1%
	R1	700人	953人	136.1%	102.6%
	R2	700人	828人	118.3%	86.9%
パソコン教室参加者数	H29	400人	461人	115.3%	102.4%
	H30	400人	457人	114.3%	99.1%
	R1	400人	422人	105.5%	92.3%
	R2	450人	183人	40.7%	43.4%

【増減理由】

- ・新型コロナウイルスの感染拡大の影響が大きい。
- ・スポーツ教室は、事業の開始時期を遅らせたが、ほぼ例年並みの参加者数が確保することができ、計画数を上回った。
- ・パソコン教室は、施設に出向いての開催が少なかったため、参加者数が減った。

3 評価結果

評価項目	指定管理者自己評価	県所管課	
		評価	コメント
①サービスの維持・向上に向けた取組みが適切に行われているか。	3	3	来館者アンケートにより、ニーズや満足度を確認し、必要な対応策を講じるとともに、職員一同、障害者への合理的配慮に努めている。また、設置目的を達成するため、各種事業に適切に取り組んでいる。
②利用促進に向けた取組みが適切に行われているか。	3	4	ホームページやフェイスブックなどの SNS の活用により、会館の情報や関係機関などの情報を幅広く発信し、施設の利用促進を図っている。また、関係団体との交流、情報交換を行い連携を図っている。
③施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	3	3	必要な設備の点検及び修繕等を行い適切に維持管理を行っている。
④緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われているか。	3	3	万が一に備え、全職員参加の防災訓練を実施し、日頃から防災意識をもって業務に当たっている。また、青森市の緊急指定避難所に指定されており、緊急時への受け入れ態勢を整えている。
⑤指定管理料が適正に執行されているか。	3	3	真に必要な経費の執行に努めており、指定管理料は適正に執行されている。
⑥成果目標達成のための努力が行われ、成果が上がっているか。	3	3	施設利用者数、パソコン教室の参加者数は新型コロナウイルス感染拡大の影響により計画を下回っているが、スポーツ教室は、魅力ある教室づくりに努めており計画目標を達成している。
⑦その他法令等を遵守した管理運営が行われているか。	3	3	協定書を順守し、労働法令及び個人情報の保護に、適正に取り組んでいる。
総合評価	3	3	利用者へのサービスの充実に向けた取組や、施設及び設備の維持管理等について適正に行っており、利用者からも概ね評価を得ている。

○評価基準

- 5（秀）：業務水準書等の内容を上回り、特筆すべき実績をあげている。
- 4（優）：業務水準書等の内容を上回り、優れた実績をあげている。
- 3（良）：業務水準書等の内容が満たされている。
- 2（可）：業務水準書等の内容が満たされず、一部改善を要する。
- 1（不可）：業務水準書等の内容が満たされず、重大な改善を要する。